

五悔

懺悔

至心に無量の罪を懺悔したてまつる。

我れ及び法界の諸の衆生、無明顛倒に迷惑せられ、四重五逆等、乃至謗法

闡提の罪を造作し、自ら作し他をして作

さしめ、作すを見て随喜せり。

我等今、諸仏の前に対して衆多の

極重罪を発露し、至心に慚愧し尽く

懺悔したてまつる。

仰ぎ願わくは十方一切の仏、已に作れる罪は尽く消滅し、未来の悪をして更に造らざらしめんことを。

懺悔し已りて、三宝に礼す。

勧請

至心に勧請したてまつる。

十方の応化、法界無量の仏、唯だ願わく

は、久しく住して法輪を転じ、衆生を

して、本浄に還らしめ、然して後如来

常住に帰したまえ。

勧請し已りて三宝に礼す。

随喜

至心に随喜したてまつる。

諸仏菩薩の諸の功德、凡夫の静乱の

有相の善と、漏と無漏との一切の善を、

至心に皆随喜す。

随喜し已りて三宝に礼す。

回向

至心に回向したてまつる。

三業所修の一切の善をもつて、

十方恒沙の仏を供養したてまつる。

虚空法界、尽未来まで、願わくは此の福

をめぐらして仏道を求めん。

回向し已りて三宝に礼す。

発願

至心に発願したてまつる。

願わくは命終に臨んで神乱れず、

正念にして安楽国に往生し、弥陀に

面奉して聖衆に値い、十地を修行して

常樂を証せん。

発願し已りて三宝に礼す。